

<p>公益財団法人 8020 推進財団 令和 4 年度 歯科保健活動助成交付事業報告書抄録</p>
<p>1. 事業名：生涯を通じた歯科健診・保健事業（成人・高齢者に対して）</p>
<p>2. 申請者名：一般社団法人福岡市歯科医師会 会長 神田 晋爾</p>
<p>3. 実施組織：一般社団法人福岡市歯科医師会</p>
<p>4. 事業の概要</p> <p>2021 年度の政府の「経済財政運営と改革の基本方針（骨太の方針）」に「生涯を通じた切れ目ない歯科健診、疾病の重症化予防にもつながる歯科口腔保健の充実」と記載されたこともあり、昨今、国民も全世代にわたる歯科健診の重要性を認知しつつある。福岡市歯科医師会では現在各世代に対して各種歯科健診事業を行っているが、「高校卒業後の専門学校生や大学生、新入社員の世代」に対する歯科健診が整備されておらず、いわゆる健診の「谷間の世代」となっている。残存歯数は 20 才をピークに年々減少していくことから、本会では、この世代への 1 年に 1 回の歯科健診を習慣づけることが 8020 運動の達成に必要不可欠であると考え、令和 4 年度から 3 年間にわたり 18～20 才になる新成人を対象に会員診療所において無料歯科健診の提供とノベルティの配布を行うこととした。これに合わせて新成人向けに「口臭ケア」や「かかりつけ歯科医院への定期受診の重要性」などの動画を作成し、ホームページやインスタグラム、フェイスブック等の SNS を利用して拡散し、更に WEB 広告を打ち、相乗効果によって成人期に対して口腔環境の重要性について啓発を行った。</p> <p>また、高齢者に対しても昨年度までと同様に保健所や公民館等で市民向けに出前講座を行い、口腔機能検査・訓練についてその重要性を周知した。今まで少人数を対象に回数をかけて講演を行うことで理解度を深めることが出来、かなりの反響が得られていたため、今年度も引き続き「口腔の健康が全身の健康に繋がる」というパンフレットを地域住民が集う場所に設置するとともに、出前講座を行うことによって広く啓発を行った。</p> <p>この 2 つの世代のターゲットに対して定期歯科健診や口腔機能の重要性について周知を行うことで、ひいては 8020 運動の認知度を高め、2016 年には 50% を超えた 8020 運動の達成率を、さらに 70% まで引き上げることを目標として事業を行った。</p>
<p>5. 事業の内容：</p> <p>新成人向けに「口臭ケア」や「かかりつけ歯科医院への定期受診の重要性」などの動画を作成し、ホームページやインスタグラム、フェイスブック等の SNS を利用して拡散し、更に WEB 広告を打ち、相乗効果によって成人期に対して口腔環境の重要性について啓発を行った。</p> <p>また、高齢者に対しても昨年度までと同様に保健所や公民館等で市民向けに出前講座を行い、口腔機能検査・訓練についてその重要性を周知した。「口腔の健康が全身の健康に繋がる」というパンフレットを地域住民が集う場所に設置し、薬剤師会講演会においてもパンフレットを作成し配布した。</p>
<p>6. 実施後の評価（今後の課題）：</p> <p>本会で実施した新成人（18～20 才）を対象とした健診事業では予想以上の受診者数が得られ、それに伴って行った動画による SNS や WEB 広告を利用した啓発活動は健診の谷間の世代に対しての効果的なアピールであったと実感している。</p> <p>また、高齢者対してもこれまで同様に、地域住民の集まる場所にパンフレットを設置することで多くの地域住民の目に止まる状況が出来、出前講座も実施して歯科医師会への問い合わせも増えるなど、継続的に行うことで徐々にではあるが口腔ケアへの意識づけが出来つつあると思われる。新型コロナウイルス感染症が収束に向かいつつある今、今後はコロナ禍によって根付いてきた WEB を用いた啓発やセミナーを行いつつ、更に積極的に対面でも「口腔内を清潔に保ち口腔機能を維持することが全身の健康に繋がり、感染症予防にも繋がる」という啓発を行っていかうと思う。</p> <p>啓発には継続して行うことが必須であると思われるので、今後も積極的に WEB と対面を併用しながら、「生涯を通じた歯科健診の重要性」や口腔の大切さを周知していこうと考えている。</p>